

国際交流
特別展

北宋

女青磁窯

Special Exhibition

Northern Song
Ru Ware-Recent
Archaeological
Findings

考古発掘成果展
平成二十一年十二月五日(土)～平成二十二年三月二十八日(日)

開館時間

午前九時三十分～午後五時
※OSAKA光のルネサンス開催中の
十二月十二日(土)～二十五日(金)の期間は
夜九時まで開館(入館は、いずれも閉館二十分前まで)

休館日

月曜日(十二月十四日(月)、十二月二十一日(月))
一月十日(祝)、三月二十二日(祝)は開館
年末年始(十二月二十八日～一月四日)
一月十七日(火)、二月十二日(金)、三月二十三日(火)

交通

京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」
地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」
各駅から約四百メートル 大阪市中央公会堂東側

観覧料

一般九〇〇円(七五〇円)
高校・大学生六〇〇円(四五〇円)
○右記料金で全館の展示を、ご覧いただけます。○内は、十八以上の団体料金を
○身体障害者手帳ツルのマーク付健康手帳、
大阪市敬老優待乗車証などをお持ちの方、中学生以下は観覧料が無料

主催

大阪市立東洋陶磁美術館
河南省文物管理局、読売新聞大阪本社

特別協力

河南省文物考古研究所

協力

日本航空
後援
中華人民共和国駐大阪総領事館

同時開催

特集展・初代宇野宗麿の陶芸
平常展・安宅コレクション中国陶磁・韓国陶磁
李秉昌コレクション韓国陶磁
日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺

大阪市立東洋陶磁美術館

北宋

汝窯青磁窯



青磁刻花龍文瓶



青磁鸞鳥形香炉蓋



青磁輪花碗



青磁蓮弁形香炉



青磁瓶



青磁梅瓶

※掲載作品はすべて 宝豊清涼寺窯址出土 | 河南省文物考古研究所 蔵

◎講演会

日時:平成21年12月5日(土) 午後1時30分~4時
場所:大阪弁護士会館・10階会議室
定員:120名(参加費無料・先着順・当日午前11時30分より会場にて整理券配布)
内容:「宮廷生活における汝窯と宋代官窯青瓷」
劉朝暉氏(上海・復旦大学文物與博物館学系副教授)
「汝窯について」出川哲朗(当館館長)

◎国際シンポジウム「北宋汝窯青磁の謎にせまる」

開催日:平成22年3月13日(土)、14日(日)
場所:大阪歴史博物館・講堂
定員:250名(参加費無料・先着順)
内容:中国、台湾、韓国、日本の研究者が汝窯に関する最新の研究成果を発表
※本シンポジウムは財団法人ボーラ美術振興財団の助成によるものです
※詳細については後日別途広報いたします。当館ホームページをご覧ください。

◎同時開催

特展 | 初代宇野宗堯の陶芸
| 平常展 | 安宅コレクション中国・韓国陶磁、伊豆山本コレクション韓国陶磁、日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺

交通:京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m、大阪市中央公会堂東側

駐車場:当館には一般向け駐車場はありません。但し、身障者の方の駐車及び団体用バスは事前にご連絡下さい。日曜・祝日 午前10時~午後4時 中之島公園内「車両進入禁止」となります。

moc 大阪市立東洋陶磁美術館

OSAKA The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 tel.06-6223-0055
http://www.mocco.or.jp

本展は中国の河南省文物考古研究所が近年進めてきた河南省宝豊県清涼寺の北宋汝窯青磁窯址の考古発掘成果を日本で初めて紹介する展覧会です。北宋汝窯の伝世品は北京・台北の両故宮博物院をはじめ世界でも数少ないもので、日本では当館所蔵の「青磁水仙盆」が知られています。北宋末期、北宋宮廷の命により宮廷用の青磁製品を製作した汝窯は、「天青色」とも呼ばれる青みがかった独特の釉色と精緻なつくりで知られ、中国の青磁を代表するもの一つとして評価が高いものです。本展は宝豊県清涼寺汝窯窯址の出土資料約80点により、北宋汝窯青磁の謎と魅力に迫ります。なお、本展では近年汝州市内で発見され注目されている張公巷窯址の出土資料の一部も併せて紹介します。

